

**市議会を視聴して思うこと**

**○6月定例会議会の市議会モニターからの意見に居眠りをしているように見える議員についての指摘があったが、8月定例会議会の市議会モニターからの意見にも同じような記載がある。**

→ 議員）まず居眠りについてはあってはならないし、議員の弁護をしているわけではないが、中には、目を瞑って聞いている方が頭に入ってきやすいという人もいる。

**○目をつむって集中しているのかもしれないが、第三者からすれば目をつむって全く動かなければ、集中しているというよりは眠っているように見える。**

**○下を向いて目をつむっていたら、一生懸命聞いているとは受け取られず、眠っていると受け取られると思う。一般のモラルはきちんと守っていただきたい。市議会モニターの役割と思い一生懸命見ようとしているのに、がっかりしてしまう。**

→ 議員）今回のご意見も含め、他のグループでのご意見も市議会モニターの皆さんにまとめて配布させていただく予定である。逆に皆さんに議員の日々の行動をご覧いただいて、改選期などの際に意思を反映していただければと思う。

→ 議員）最近では、千葉市議会でも議員の居眠りといびきで一時期ニュースになった。寝てはいけませんが、個人的には制度自体にも問題があるのかなと思う。例えば本市のような地方議会は、質問の内容に関連して追加で質問できる仕組みがあるが、これは同じ会派の人が一般質問をしているときにしか質問をすることができず、一般の方と同じ状態で聞いているだけになる。また、一般質問の前には打ち合わせがあり、質問内容も行政側は事前に知っていることもあり、時間ももったいないなと感じる。居眠りの原因というわけではないが、そのあたりの制度についても変えていく必要があると個人的に思っている。

→ 議員）居眠りに対しては、個人的には同じ思いを持っている。この問題を突き詰めると選挙しかないのかなと思う。

**○一般質問をテレビで見ているもなかなか議論が盛り上がらないと感じる。質問をする議員と、答弁する行政側の2人だけの議論で終わってしまう。関連質問についてのルールがあるのを知らなかった。行政側の部長も自分が関係ないところは全く出番がないし、他会派の議員も何も言えないというルールは変えていってもらいたいと思う。もう少し議論が盛り上がる議会になってくれたら、テレビで見ているもいろんな意見が聞けるので勉強にもなるし、いい政策につながっていくのではないかと思う。**

→ 議員）一般質問は議員一人あたり30分を各会派に与えられ、それによって、各会派で時間配分を決めている。質問する議員それぞれに、このように決められた持ち時間がある。また、一般質問をする場合、事前に、何について一般質問をするかという表題を通告する。その後、ヒアリングといって、担当部局の職員と打ち合わせを行い、担当部局は今回どのような質問をするのか事細かく聞き取って答弁原稿を作成する。関連質問は、それぞれ議員が所属する会派の中で、その定例会議会に質問しない議員が関連質問を行うことができるということになっている。現状、テレビ放映もしており時間の制約があり、全国でほぼ同じように行われている。だから仕方ないというのではな

く、確かに、制度上変えていかなければならない部分もあると思う。

→ 議員) 関連質問ができない議員、行政職員が座っているのは、今後、人事異動がある行政職員も議員も広く見識を深めるという意味で議場に座っているというのも一つだと思う。

→ 議員) 今はコロナ禍のため傍聴できないが、常任委員会は事前の打ち合わせ等もなく、議員の生の声が聴けると思う。本日の会場を使って、事前打ち合わせなしで、議員が理事者に質問をしている。活発に議論が行われるための仕組みの一例として、平成23年度の議会基本条例制定時に、出席する行政側の部長や課長に反問権を与えている。「議員、そこまでおっしゃるのでしたら、対案は。予算はどこから持ってきますか。」というような内容を、反問権の行使を宣言しなくても、発言できる仕組みになっている。常任委員会を見ているとそのような場面が見られるかもしれない。そのため、議員は言いつばなしではいけないし、予算などについてももちろん勉強しなければならない。

→ 議員) 一般質問が形式的になっている部分もあるかもしれないので、一人ひとりがそのあたりを心掛けていかなければならないと思う。

**○一般質問が形式的になっているところは省略して、眠くならない方法というのも考えてほしい。**

**○一般質問時のカメラの角度について、質問している議員や答弁している行政側の職員は映っているが、周りの議員はたまにしか映らない。いろんな角度からカメラで映すことで、緊張感が生まれ、お互いが緊張感の中で議論ができるのではないかと思う。**

→ 議員) 技術的には可能であるが、一般質問の最中に他の議員を映すというのも本来の目的が変わってこないかという懸念もある。

→ 事務局) 合間に議場全体の角度の映像を流すことは、議会として検討し、その方向で進めようとなれば、委託業者との交渉はできると思う。貴重なご意見として検討させていただく。

**○一般質問について、議員がいろんな資料をスクリーンに映写して、いろいろと調べているのだなと感心した。各議員はタブレットにたくさんの資料が配信されているのでいいのかもしれないが、一般市民がテレビやインターネットで見ていると、調べたことをとうとうと述べているだけでポイントが分かりにくい。議場のスクリーンに映写する資料も、単に表をそのまま映すのではなく、資料を工夫して重要な部分を書き出すなりして映写しないと分かりにくくて惜しいなと思う。**

**○いろいろと調査したことを話したいのはわかるが、ポイントを絞って、もう少し時間を有効に使って一般質問をしてほしいと思う。**

→ 議員) 本来、どの議会も言論の府といわれ、言葉で話さなければならないが、議場の大型スクリーンの設置は視認性の高い情報も重要だということで、補助的に使うという目的で設置された。使い方については議員の資質の部分もあると思うが、市民の方に広報するためテレビ中継しているという所も意識すべきと思う。

→ 議員) 言葉だけでは伝わらないという所もあり、私はスクリーンやパネルを十分に活用している。私も効率が悪いと感じることが二点ある。一点目は、答弁する部長が答弁の冒頭に議場の真ん中で一礼をするなどの形式がきちりとあり、話さない時間が長くなること。二点目は、質問、答弁ともに非常に難しい言葉を使い、テレビのようなわかりやすい言葉をあまり使わないこと。時代に合わせて広く市民にわかりやすいようにするべきではないかと個人的には感じている。

→ 議員) 一般質問を今まで5回ぐらいしてきたが、なるべく皆さんにわかりやすい言葉で伝えること、また、聞いている年齢層もそれぞれ年代が違うことを意識している。

○6月の一般質問で議員が職員の個人攻撃のような質問をした。その時の個人攻撃は見ていて見苦しいと感じた。同じようなことがあった場合はそういう話をやめて本来の行政のあり方についての質問に専念してくださいと注意してほしい。

→ 議員) 8月定例月議会で同じようなことがあり注意をした。言論の府であり議員の言葉は重い。できるだけ与えられた時間を有効に使ってほしいが、プライバシーや個人攻撃のような前向きでない発言の場合は注意をするというスタンスである。今回のように市議会モニターの皆さんにもチェックをしていただきたい。

○コロナ禍で本会議や常任委員会の傍聴ができないが、都合でテレビ中継も逃すことがある。録画映像は最初から最後まですべて見ることができるのか。常任委員会は4つに分かれて同時に行うこともあるが、これもすべて見ることができるのか。

→ 事務局) 本会議(代表質問、一般質問など)も、常任委員会もインターネットで生中継をしており、後日、録画映像も公開しており、すべて見るができる。

○委員会を生で見たいが傍聴する方法はないか。

→ 議員) コロナ禍でなければ、傍聴を受け入れていたので、状況が落ち着けば傍聴の受け入れを再開すると思う。今はインターネットで生中継をしているのでそちらを見ていただきたい。

#### 市議会モニター制度について

○市議会モニターから寄せられた意見という資料が配布されているが、これはそれぞれの議員が読んでいるのか。

→ 議員) いただいたご意見は全議員に配布されている。私は議員全員が読んでいると思っている。  
→ 議員) 意見は各会派にも配布されている。「読んでいると思っている」という発言は、きちんと見たかの確認まではしていないという意味での発言であり、きちんと見ていると認識していただけたらと思う。

○市議会モニターから寄せられた意見という資料は、意見交換会当日ではなく、事前に市議会モニターに届けてほしい。事前に他のモニターさんの意見もよく読んで参加したかった。

○市議会モニターはボランティアでやっている。各議員には事前に配布をしておいて、市議会モニターをほったらかしにはしてはいけない。少なくとも9月までの意見を集約して届けるべきである。

→ 事務局) 来年度からは、事前配布する方向で検討する。  
→ 議員) 事務局としても議員を優先したというわけではないと思う。次回から必ず改善することになると思う。

#### その他

○女性議員がまだまだ少ないと感じるので、立候補しやすくなる仕組みなど何かできることがないか検討してほしい。

○常任委員会のメンバーがほとんど変わっていないが任期があるのか。

→ 議員) 常任委員会の任期を昨年度から原則2年間とし、前年度の議論の経緯がよくわかり、より深い議論を行えるようにした。

**議会を視聴して思う事**

- 6月と8月定例月議会において、議長が議員の発言を制止する場面があった。議長の発言については十分守られなければならないと思う。新人議員に対して模範を示すような議会運営をしてほしい。
- 議員は市民のために頑張っているといっていると非常に感謝しているが、これまで3回傍聴した時に議員が個人的なことを質問して議長に制止されていた。議会としてやめてもらうことはできないのか。
  - 議員) 一般質問は議員に認められた権利であるが、今後の対応については議会として検討していくことであると思っている。
- 一般質問の際、午前と午後で休憩時間が異なっている。午後の休憩時間はなぜ15分なのか、昨年も同じ質問をしたが、慣習であるとの返答であった。傍聴者にとって15分待つのは長いと感じる。休憩時間を短くして、質問時間を延ばすなど有効活用できないか。
  - 議員) 休憩時間や時間配分については、議会内で議論が出始めたところである。
  - 議員) 15分の休憩時間については、検討していく必要があると思う。
- 8月定例月議会について、実際議会が開催されているのは9月中であるが、なぜ名称が8月なのか。また、答弁者は登壇する場合と自席の場合があるが、自席で答弁した方が効率的ではないか。
  - 議員) 名称については、初日の属する月にするということとなっている。また、登壇については、一般質問の大項目の一番初めの質問に対しては、登壇して答えるという申し合わせとなっている。
- 答弁者は狭い席の間を通過して何度も行き来せず、自席で答弁した方が効率的である。
  - 議員) 本来は、答弁ごとに登壇すべきだが、時間の関係上2回目の質問からは自席での答弁となっている。いただいた意見は今後の参考としたい。
- 今まで四日市に住んできて、議会を見たことがなかった。市議会モニターを引き受けたのは、モニターになれば必然的に傍聴に行くようになると考えたからであるが、コロナ禍で傍聴に行けないのでDVDを見ている。モニターになると、市議会を傍聴、視聴して意見や感想を書かなくてはいけないと知り、重荷となっている。議員の質問に対して感想を書くことは必要なのか。
  - 議員) モニターさんの意見は、ずっと拝見している。熱心に書かれている方もいて、ありがたいことだと思っている。議員の立場からは、なかなか気づかないことがあるので、指摘されると大変勉強になる。難しく考えずに一言で良いので、意見や感想をいただければと思う。
- 一般質問は質問者も答弁者も紙を見て読んでいるだけなので、もう少し工夫が必要だと思う。また、議会の内容はホームページや市議会だよりに掲載されているが、どの情報がホームページのどこに掲載されているのかを周知したり、市議会だよりにQRコードを載せるだけではなく、QRコードを使うことによってどのような情報が得られるということをアピールした方が、市民に議会の内容を伝えられるのではないか。

## 市議会だより、市議会ホームページについて

○個人的には市議会だよりは素晴らしいと思っている。県議会だよりはワンペーパーなので、廃棄されるのではないかと思う。

- 議員) 表紙についても、どのようなものが良いのか毎回悩んでいる。昨年、大阪府の八尾市議会に視察に行き、高校生と協力して表紙作成をしている取り組みを視察してきた。四日市市議会でも、12月定例会議会号で高校生とのコラボによる表紙作成を企画している。
- 議員) 四日市市議会では高校生議会を開催しており、コロナ禍でも多くの高校生に参加してもらうことになり、今年度も開催することとなった。今の子どもたちは、市政や政治に興味がないものと思っていたが、熱心に取り組んでもらっている。感染症拡大防止のため、一般公開できないので、非常に残念である。コロナが収束したら、ぜひ見てほしい。

○市議会だよりは、どれくらいの市民が読んでいるのか。自分は、地元議員の部分しか読んでいない。市議会だよりも、雑誌にあるような読者アンケートをつけて、景品がもらえるようにしてはどうか。議員は、自分の活動を知ってもらうために発行したいと思うが、もっと市民に読んでもらえるよう、努力が大切だと思う。せっかく発行しているのに、もったいないと思っている。

- 議員) どのような表紙にしたらよいのか、どうしたら読んでもらえるのか、毎年議論しているが難しいと感じている。
- 議員) 文字数、文字の大きさ、写真の掲載などさまざまな改善をしてはいるがこれからも検討したい。

○議会だよりの2月定例会議会号に高校生議会のページがあるが、意見書を議長へ提出となっているのに、意見書の全内容が掲載されていない。特集号を発行してでも、すべて掲載すべきである。

○今は、さまざまな情報があふれており、回覧、新聞、ニュースなど情報が多い。情報の発信者も受信者も一方通行にならないためには、どうしたら良いのかと思っている。

○市議会だより、市議会ホームページともに受け取る方が興味を持てるような、工夫が必要だという気がする。

## その他

○新図書館はどこにつくられるのか、市の態度がはっきりしていないが、市議会としてどのように対応しているのか。

- 議員) スターアイランド跡地に何が建つのかまだ分からない状況である。コロナ禍で話が遅れているので、市としては、それが決まらないとはっきりとしたことが言えない。

○津市、鈴鹿市、桑名市を見ても、立派な図書館ができてみなさん利用されている。丹羽文雄先生の展示も本来は博物館ではなく、図書館にあるべきではないかと思っている。図書館に関して、今までの政策が遅れている。非常に残念なので、ぜひ議会が市長を動かして早く進めてほしい。

- 議員) 現在検討中であるため、もうしばらく待ってもらえたらと思う。

○以前に地区の投票率を選挙管理委員会に電話で尋ねたところ、「窓口に来てください。」と言われた。そのあと、一般質問で議員が投票率を議会でも出されていたが、電話では教えてもらえない規則なのか。

- 議員) 確認したい。

○議会報告会を2委員会同日に開催しているが、4日間に渡って開催できないか。市民にとって議員

から議会の報告してもらえらるチャンスであるし、こういう機会でない議員と会うこともないので、ぜひお願いしたい。

→ 議員) 今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催中止とした一方、4 常任委員会が一つの会場で開催する新たな対応もとっている。4 日間に渡っての開催については、日程調整などを含めて議会として検討したい。

○議会報告会の参加者が減っている。一度、連合自治会に協力を依頼して、働きかけてもらうことも必要ではないか。地区に関連した事項がある時は人が集まるが、それ以外にも市としての問題はある。連合自治会に依頼し、みんなで話し合ってはどうか。一度検討してほしい。

○7月に出席した市議会モニター研修会で、四日市の水「泗水の里」を初めて見た。そのあと、8月定例月議会の一般質問で議員が質問されていた。「泗水の里」をもっと市民に周知するため、また、来年開催される国体の宣伝にもなるため、各世帯に1本ずつ配布してはどうか。

→ 議員) 四日市の水「泗水の里」がモンドセレクションで金賞をとったことがあまり知られていない。周知の工夫が必要であると感じている。こういった場で一人でも多くの方に知ってもらうことも重要であると思っている。

○新聞で「泗水の里」の記事を見た。素晴らしい水だなと思った。各世帯に配布してもらうのもいいと個人的には思う。

○四日市は公害のまちというイメージがあるので、ぜひ公害と環境未来館に「泗水の里」を置いてもらって、良いところも宣伝してほしい。

**市議会を視聴して思うこと**

○マスクの着用やインターネット回線の関係もあるかもしれないが、本会議のテレビ中継と比較して、委員会での議論は聞き取りにくいと感じた。また、委員会の中では、資料に基づいて説明や議論がされることがあるため、インターネット上で委員会資料が見られるようにしてほしい。

→ 議員）インターネットで委員会を視聴している方にも聞き取りやすいように発言するよう注意しているが、再度注意喚起していきたい。委員会資料の公開についてはご指摘のとおりだと思うので、検討したい。

○傍聴席から質問席やスクリーンが離れているため、質問の様子がよくわからない。傍聴席用に別途モニターやスピーカーを設置し、質問の様子が分かりやすいようにしてほしい。

→ 事務局）傍聴席用にスピーカーを増設したことがある。

→ 議員）ヘッドホンを使って議論を聞き取れるようにするなどの対策も考えられるため、一度検討したい。

○一般質問の答弁内容はあらかじめ調整されているものと思われるが、内容が決まっているならば、スクリーンに文字で表示できないか。

→ 議員）質問をしている議員でも答弁があるまで内容を知らないもので、スクリーンに文字で表示することは難しいと思われる。

○議論の中で聞きなれない言葉が使われることがある。広く市民に情報を届けるためには、分かりやすい言葉遣いを意識すべきだと思う。

→ 議員）非常に重要な指摘であると感じる。議員も普段は分かりやすい言葉遣いを意識しているが、議論が白熱すると略語等の分かりづらい言葉が出てしまうことがあるので、いただいたご指摘は議会全体で共有して、気を付けていきたい。

→ 議員）議会特有の略語や専門用語もあり、慣れていないと分かりづらいと思う。もっともな指摘だと思うので、気を付けていきたい。

○ホームページで予算や決算の分科会長報告を拝読したが、聞きなれない言葉が使われていた。注釈をつけるといった工夫が必要ではないか。

→ 議員）議会だよりでは注釈をつけるなど、読みやすいよう工夫しているが、その他の部分についても伝わりやすいよう努力していきたい。

○議会での議論においては専門用語が使われることは仕方なく、私たちがそれらを勉強しなくてはならないと思う。議会側は、分かりにくい用語に注釈をつけるといった対応をとれば十分だと思う。また、議員の質問は聞き取りやすいが、市側の答弁が聞き取りづらいことがあるため、ヘッドホン等で改善できるなら対応してほしい。一般質問の内容からは各議員の努力も見られ、満足している。

→ 議員）言葉遣いについては議会としても十分注意すべきであると思うので、気を付けたい。

→ 議員）議員目線でも市の説明資料が分かりづらいと感じることがある。より多くの人にとって分かりやすいよう意識を変えていく必要があると思う。

○市議会モニターの活動を通じて四日市市のことがよくわかるようになったので、満足している。一

般質問については、質問する議員によって内容に差があり、質問する内容として相応しくないのではないかと感じることもある。

→ 議員) 各議員が重要視する価値観で発言しており、これは尊重されるべきであるが、一方で、議会だよりに掲載して広報することについては一定の配慮が必要であり、広報広聴委員会でしっかりと議論している。

#### 市議会だより、市議会ホームページについて

○市議会だよりの一般質問の記事については分かりやすく満足している。議員によってはいくつかの項目を質問しているが、議会だよりにはその中から項目を絞って掲載しているのか。

→ 議員) 質問した項目のうち1項目を掲載している。質問した全項目は別ページにまとめてある。

○一般質問において、個人攻撃と思われる内容を発言している議員がいたが、そのまま議会だよりに掲載されるのか。

→ 議員) 読んだ方に誤解を招かないよう、広報広聴委員会の編集権の中で内容を修正して掲載することとしている。

○議会だよりの発行をもう少し早められないか。8月定例会議会号はいつ発行されるのか。

→ 事務局) 8月緊急議会・8月定例会議会合併号は11月20日発行予定である。掲載内容の校正等に時間がかかるため、どうしても一定の時間が必要となる。

○市議会ホームページの更新情報の項目をある程度絞って分かりやすく表示できないか。

→ 事務局) ホームページの運用の中で改善していきたい。今年は新型コロナウイルス関連のお知らせを載せている関係上、表示する項目が多くなってしまっているという事情がある。

○SNSのQRコードを市議会だよりの中に載せているが、市議会だよりを開かずに捨ててしまう方もいると思われるので、いっそのことQRコードを表紙に掲載してはどうか。SNSで市民の意見を募るなど、情報交換のツールとしても使えるのではないか。

→ 議員) “いいね”も少なく、つけている大半は本市議会議員という実情もある。いまひとつ活用できていないので、貴重な意見として参考にしたい。

→ 議員) ご指摘いただいたことは広報広聴委員会で検討したい。

○SNS等を使わないので、紙媒体の市議会だよりはありがたい。北勢バイパスの進捗等が気になるので、紙面の内容については委員会の内容を充実させてほしいと思う。新聞記事で市や議会の動きを知ることが多く、市議会モニターには手厚く情報提供してもらえないかと思う。

→ 議員) 今年は新型コロナウイルスの関係で例年よりも参加いただける会議等が少なくなっているという事情がある。情報提供については検討したい。

#### その他

○モニター通信に対する回答はどのくらいかかるのか。

→ 事務局) 質問内容によってかかる時間は異なるが、議会として考えを調整したうえで回答しているため、時間がかかってしまうことがある。

○認知症カフェに参加しているが、議会でも認知症について議論が交わされているのか。

→ 議員) 議会でも認知症対策には関心をもって議論している。市長も認知症施策に前向きであり、今後も市議会での議論に注目してほしい。